

# 平成19年度人間総合科学研究科最先端医学研究セミナー

日時：2007年11月9日（金）17:00～

場所：医学群棟4階4A411

ダコジャパン(株) フローサイトメトリー機器事業部  
プロダクト・マネージャー 高阪 勉 先生

\* 本セミナーは最先端医学研究セミナーの単位に換算されます。

## 「フローサイトメトリーの基礎から臨床応用」

### 1. フローサイトメトリーの開発から基礎原理

フローサイトメトリーは、1970年代に米国Stanford大学のHezenberg博士ら、Los Alamos研究所のVanDillaらによって開発された細胞自動計測機器であるフローサイトメーターは米国企業により製品化された。当時は、非常に高価で複雑な機器という印象からか、なかなか普及しなかったという経緯が存在する。しかしながら、近年急速に改良と開発が進み、現状では大学学部生でも使用可能な程に性能や操作性は向上している。しかし、フローサイトメトリーの原理を十分に理解せずに使用している現状が多々存在する事も否定出来ない。今回は、フローサイトメトリーの開発のコンセプトや基礎的な原理を説明致します。

### 2. フローサイトメトリーの臨床応用から今後の展望

現在、生体試料を対象とした血液学的検査の分野では、フローサイトメーターを用いたリンパ球サブセット検査や造血器腫瘍の診断のための検査は治療の臨床経過観察に必須項目である。また、昨今では生体中のサイトカインの動態を解析し免疫機能の判断に応用している臨床研究も多々存在する。今回は、フローサイトメーターを用いた臨床応用例から今後の展望を説明致します。

共催：筑波分子医学協会（協会長、入江賢児）

連絡先：先端応用医学専攻：大根田修（2938）

分子情報・生態統御医学専攻：渋谷彰（3281）

社会環境医学専攻：熊谷嘉人（3133）